



敬老福祉大会が開かれる

9月17日は敬老の日でした。つくば市では、地域社会の発展に多大な貢献をしてこられた高齢者の皆さんに対して、長寿と敬老の意を表し、敬老福祉大会が開催された。

お祝いの集いは2会場で満70歳以上の方をお招きし開催された。つくば市では、70歳以上の方が31,890名（男性14,060名、女性17,830名）で、最高齢者は男性で104歳、女性で106歳でした。

市民公約の実現へ

市長公約事業のロードマップで82の公約事業名を挙げて市民公約の実現を図りました。一部の事業では、事業が継続中かと思われませんが、これまでの経緯、成果について3月議会で質問していますので紹介をします。

質問・金子かずお議員

- 1、徹底した行政改革についての考え方について伺いますが、人材育成、行政の見える化、市民参加のまちづくりを進めるとしています。（一つ目の柱）
- 2、安心の子育てについての考え方について伺います。（二つ目の柱）

妊娠、出産、子育てに切れ目のない施策を展開して、安心して出産できる環境をつくり、未来を担う子供たちを育てていく教育を進めるとしています。

- 3、頼れる福祉についての考え方について伺います。（三つ目の柱）

安心して暮らせる老後のために、環境整備、障害があっても自分らしく学び、生きられる環境づくりなどを進めていく。

- 4、便利なインフラについての考え方について伺います。（四つ目の柱）

公共交通の充実による市民の利便性の向上を目指すとともに、災害と犯罪に強いまちづくりを進めるとしています。

- 5、活気ある地域づくりの考え方について伺います。（五つ目の柱）

新たな産業の創出と地元企業の育成、新たに農業を志す人への支援を行うとともに、科学技術を市民の生活に生かすための取り組みや旧市街地の振興を図っていくとしています。

- 6、誇れるまちについての考え方について伺います。（六つ目の柱）

文化と伝統が薫るまちづくり、スポーツでつながるまちづくり、つくばの資源を生かす移住、定住促進、環境振興を進めるとしています。

これらの六つの施策の公約実現についての評価、あるいは未達成の検証などをすることが必要と思われるのでお尋ねをしたいと思います。

答弁・市長

平成 30 年度市政運営についてであります。所信でも申し上げたとおり、私が市長に就任して以来、山積する課題に対して、一つ一つ解決の方向性を示していくことを意識してまいりました。昨年 6 月には、私が公約に掲げた六つの施策を柱としたロードマップを作成し施策を進めてまいりましたので、その主なものを述べさせていただきます。

まず、一つ目の柱である徹底した行政改革については、市民参加のまちづくりの取り組みとして、市民の皆様と直接対話できるタウンミーティング「会える市長」を開始しました。来年度は、現在策定を進めている市民参加推進に関する指針に基づき、市政の市民参加をより一層推進し、市民第一のつくばの実現を目指します。

二つ目の柱である安心の子育てについては、今年度、待機児童対策として、保育士不足解消に向けた民間保育園等に勤務する保育士等への助成を開始しました。来年度は、産婦人科施設整備費助成事業、産後ケア事業、全中学校普通教室へのエアコン設置等を実施し、妊娠、出産、子育てに切れ目のない施策を展開することで子供とママ、パパに優しいつくばを目指します。

三つ目の柱である、頼れる福祉については、今年度、ひとり親家庭のマル福外来自己負担金助成、障害のある児童生徒の安全確保と学習支援のための特別支援教育支援員の増員等を実施しました。来年度は、生活困窮世帯の子供の学習支援事業の拡充や福祉有償運送への補助金創設等を実施し、全ての人が自分らしく生きるつくばを目指していきます。

四つ目の柱である便利なインフラに

ついては、今年度、災害と犯罪に強いまちづくりの取り組みとして、児童生徒の安全確保のため、りんりんロードを初めとする通学路を中心にLED防犯灯の設置などを進めております。来年度は公共交通体系の改編を実施することなどで、「広いのに近いつくば」の実現を目指してまいります。

五つ目の柱である活気ある地域につきましては、今年度は、地域に寄り添う体制づくりとして、各地区に地区相談センターを設置したほか、旧市街地の振興を図るため周辺市街地振興室を設置しました。来年度は、入札制度方針の見直しと最低制限価格へのランダム係数導入の検討を一体的に進め、地元企業の育成に力を注ぐとともに、つくばでの創業、とりわけスタートアップ施策を推進し、「地元で頑張る会社と人が報われるつくば」の実現を目指します。

六つ目の柱、誇れるまちについては、今年度は、体験型観光の推進と市内のアウトドア拠点化を目指し、アウトドアフィールド資源調査を開始しました。来年度は、中央図書館の開館時間や無料駐車時間を延長するとともに、市民に愛される図書館のあり方について検討を進め、「一緒に住まない？」と誘いたくなるつくばを目指します。

なお、市長公約事業のロードマップの進行管理につきましては、毎年度末に当該年度の進捗状況等を確認し、評価を実施することとしております。評価に当たっては、担当課とも協議を重ねながら、事業の実施内容や工程等の検証を行ってまいります。今年度の評価結果等につきましては、平成 30 年 6 月定例会を目途に、市議会の皆様へ御報告させていただくとともに市ホームページ等で公表していく予定です。